

## ロイロノートで作りたい！



3年教室で、授業をしていたときのことです。「先生、これ、ロイロノートで作りたい！」

国語の教科書に載っている「音訓かるた」を、使い始めたばかりのクラウド授業支援アプリ「ロイロノート」で作ってみたいと子供たちが言うのです。画用紙とマジックを用意していた私は、急遽予定を変更して子供たちの提案に乗ってみました。タブレットをロッカーから持ってきて、手際よく Wi-Fi に接続する子供たち。ロイロノートにログインするまで、あっという間です。ついこの前、初めて一緒に手順を確認したばかりなのに、子供たちの吸収力には驚くばかりです。

作った「音訓かるた」をロイロノート上の「提出箱」に集め、みんなで画面共有すると、子供たちは、すぐに友達の作ったかるたを音読し始めます。「ああ、なるほど」「〇〇さんの、おもしろいね」「新しいのを思いついた」自然と学び合いが生まれました。授業後、タブレットを家に持ち帰り、プラス1として「音訓かるた」の続きを作る子供もいました。

ロイロノートを使うのは、教員も初めてです。自分も手探りで子供と一緒に学んでいくことには、正直、不安も感じます。でも、新しいことに挑戦することは、大人になってもわくわくします。積極的に使ってみると、効果的だと思われる授業のアイデアが浮かんできます。まずは、使ってみる。その中で見えてきた課題を子供と共に解決しながら、すぐ先の未来、鉛筆のように子供たちの手に馴染むようになるだろうこの「文房具」をうまく活用していきたいと思います。

## 校舎をきれいに

校舎の大改造工事により、教室も廊下も外壁も、すっかり明るくきれいに生まれ変わりました。じゅうたん敷だった廊下がリノリウム素材になり、清掃用具も見直しました。長い廊下を少人数で短時間に清掃するためにクイックルワイパーを使用することにしたのですが、「使い捨ての不織布はもったいない」と、環境委員会の子供たちが使い古しのタオルを集め始めました。クイックルワイパーにタオルを挟んで廊下や階段を掃除すると、驚くほどすっきりと埃が取れます。タオルに付いた埃は掃除機で吸い取って何度も再利用しています。委員会の子供たちの呼びかけに応じて、家庭から古いタオルをもってきてくれた子供たちもたくさんいます。自分たちにできる身近なことから環境にやさしい生活を工夫しようとしているところが素敵です。



リニューアルしてきれいになった校舎に愛着をもって、大切に使っていきたいです。

## プラス1ノートに「理由」を書こう

本校では、自主学习「プラス1」を主体的に学習に取り組む態度を育成するための取組として位置付けています。そして、プラス1ノートに「なぜ、その学習をしようと思ったか」理由を書くことを子供たちに勧めています。体育館渡り廊下の「プラス1」コーナーに掲示されている子供たちのプラス1ノートを見ると、「社会の学習で、何を輸出しているか知りたくなかったから」「おせち料理の種類とその意味を知りたいから調べてみる」等、様々な「理由」が書かれています。

「理由を書く」という行為は、「自分がどこまでできていて、さらに力を伸ばすには何をしたらよいか」「自分は何に関心をもっていて、どうしたいと願っているのか」自分自身に問うことにつながります。毎日、プラス1ノートに理由を書くことで、自分に必要な学習を自分で決めて行う経験を毎日積み重ねることができます。

2月1日（月）から2月7日（日）は、「さわやか週間」です。「さわやかカード」の記録には、「プラス1ノートに理由を書くことができたか」を振り返る項目があります。ご家庭でも「どうしてそれをしようと思ったの？」と理由を尋ねる声掛けをお願いします。